

「これが私のお薦めの勉強方法」先輩からのメッセージ ～ 授業中はメモをとる。わからないことは聞く。～

1・2年生の皆さん、今の皆さんと同じように、3年生の先輩方も1・2年生の時に、苦手教科の克服やテストで点数が取れなかったりと悩んでいました。しかし、「何とか点数を上げたい。」「勉強がわかるようになりたい。」「と、あきらめずに自分に合った勉強方法をいろいろと試してがんばってきました。

3年の先輩方が、その勉強方法について紹介してくれました。今の自分の勉強方法と比べて、やっていないことを考え、「これをやってみよう。」と思うこと、そして実際にやってみることが大切です。最初はうまくいかないかもしれませんが、あきらめずに頑張ることで、必ず苦手教科がわかるようになり、テストの点が伸びて結果がでてきます。

授業で大切にしたこと

分からないことがあったら聞く。自信がない問題を習ったときに、解き方をメモしておく。

先生の発言をノートに書きこむ。教科書の太文字やおさえておきたいポイントは色ペンを使う。

先生が黒板に書いていなくて言ったことや、覚えるポイントはできる限りメモする。→皆が解けない問題が解けて、他の人と点数を上げることができる。

先生が黒板に書いたことだけでなく、自分が苦手な部分のポイントを隣に書いておくと、自分のノートが作れる。

自分が大事だと思った事は、全てメモする。先生は必ず大事なことを授業中に言っているから、そこを聞き取る。

授業では出た問題は絶対解けるようにしていました。大切なことやポイントは、ノートに書いて蛍光ペンで目立つようにしていた。

後で見やすいように、ノートをまとめるのが大切。又黒板に書かれている以外に、先生が言った大切なこともノートに書く。

ノートに使うペンは、1色だけにすると見やすく、蛍光ペンの色とボールペンの色を統一すると、見返した時にきれいです。

自分がわからない所や難しいところなどは、付箋（ふせん）を貼ったり、図で流れを書いたりして上手にまとめた。

私は絵を描くことが好きなので、ポイントごとにイラストを入れてノートにまとめました。（色を使いすぎないことをおススメします！基本的には赤青緑）

寝ないこと。（当たり前だけど）

提出物で大切にしていたこと

友達の答えを写しても時間の無駄なので、なるべく自分の力です。そして絶対に提出日に間に合わせる

計算の途中式や、間違えた問題の重要な部分を書き込む

ワークでは、全部答えを写すのではなく、一度よく考えるようにしています。わからないところは、ただ写すのではなく、解き方も書き、付箋（ふせん）にポイントも書くようにしています。提出期間をちゃんと守ることが大切です。

提出物は、テスト期間前にできるだけ早く終わらせ、理解できるまで何回も解きなおす。繰り返し解くときは、理解できなかったところだけ解くなど効率よく行う。

間違えたところは解き直す。解き方は忘れないうちに書く。

やり忘れていたページや、丸つけを忘れていたページがないかどうかを確認して、良い評価がもらえるようにワーク本体にポイントなどを書き込んでいた。

ギリギリに終わらせないこと。余裕をもって、自分のしたい教科が勉強できる。

提出期限を守るのはもちろん、提出する前に自分の苦手なページ、間違えたページの内容をノートにまとめる等して、完璧に提出するようにしていました。

めんどくさくても雑にしない。

計画通りに進める。例えば、試験範囲が出たときに、ワークが50ページくらいだったら、1日5ページ進める。

評価をよくするために、丁寧に書く。遅れて提出しない。もし忘れたら、ダッシュで家に取りに帰る。

提出期限を守れるように、少しずつ前から終わらせた。

家庭学習での復習方法（SSノートの使い方も含む）

授業でノートに書いたところをまとめる

SSノートは計算表紙に使ったり、理科や数学の図形を書いたりして、同じパターンの問題を何度も解く。

SSノートは何回も問題を解くために使っていた。又、ルーズリーフに間違えた問題と答えを書き、赤シートで隠して何回も音読していた。

SSノートには、苦手な部分を何度も解いて利用した。自分が得意と思っている部分も間違えやすいから、得意と思っても復習した。

ワークをノートに解いたり、参考書を買って予習・復習をするのがいいと思います。SSノートは週間づけることが大切なので、1日ページはやるのがベストです。

コンクールや単語テスト、ミニテスト等の際に、SSノートに何度も何度も繰り返し書いて覚えました。手が痛くなるしきついです、かなり覚えやすいです。

同じ事を1ページに全部書くより、分からないことを何度もたくさん書く方が効果的。

問題集のまとめページなどが役に立つ。

ムラなく効率をよくする。また参考書や教科書を見て覚えるのではなく、書いて覚える。（人間はロボットのような天才ではないことを忘れてはいけない。）

その日の授業のノートを見る。自分でテストしてみる。

たくさん問題を解いて、苦手を見つける。授業の復習は次の日にする。

自分が解けなかった問題をノートにまとめてもう一度解いた。

予習していかないと、復習が成り立たない。教科書を読んでから授業を受けるだけで、ずいぶん違う。

苦手教科の克服方法

国語	私は読むスピードが遅かったので、速くするために本をたくさん読んだ。国語は問題をたくさん解いて慣れることで少しは苦手を克服できた。
社会科	プリントで何回も解く。資料の読み取りや、文章問題が苦手で、教科書に線を引いて何度も読んで覚えた。 ネットを上手に活用して、一問一答の動画をずっと流していた。なぜこうなるのかをしっかりと理解することで、文章問題が前より解けるようになった。 ある事柄を覚えるときは、それに関連した図や表をセットにして覚える。 流れを掌握する。自分が今どの時代を勉強しておくかを理解しておく。 これは先生から聞いたけど、間違った問題だけを集める。単語はその説明を、文章問題ならそのポイントをまとめる。 ノートに流れをまとめたり、先生や友達に質問したりして、覚えられるようにした。
数学	分からない問題は、先生や友達に聞くことが一番早くわかる。 ひたすら問題を解く。解き方がわからなかったら、先生や友達に聞き、身に付くまで似たような問題を解く。 塾の先生に解きやすい方法をおしえてもらい、それを習得するまで問題をたくさん解きました。公式や体積などの求め方のわからなかったところは寝る前に復習しました。 毎朝10分間、苦手分野の基本的な計算問題を解いて慣れる。 一次関数が苦手だったから、過去問の同じ系統の問題を繰り返して解いて、問題になれること 計算よりも、文章問題の方が苦手。同じような問題を何回も解いてみると慣れてくる。 苦手な問題をたくさん解いて、どうやって解くのか解説を見て解き方を覚える。 分からない点がわからないことが多かったので、教科書とワークの要点を繰り返して何とか基本を身に付けた。
理科	単語をしっかりまず覚える→結果と考察を覚える→（ここからがポイント）～だから～なる。で終わらず、なぜそうなるか？と言うところまで考えると理解力が深まる。 授業で楽しく学んだ単元ほど、テストで点数が上がっていなかった。苦手を重視することは大切だけど、面白いと思った授業ほど見落としがちなので油断しないこと。
英語	英文の基本を覚える。単語と意味と一緒に覚える。 文法を理解することで、かなり解けるようになりしました。苦手だった長文は、スラッシュを入れて頭の中で日本語の返還させることで、問題が解きやすくなりました。リスニングは読まれている英文をカタカナで軽くメモしました。 英語はいろいろな単元があって本当に難しいけど、英文を訳してみたりすることから勉強になっているので、簡単なところから始めるのがいいと思います。 文の構成をノートにまとめたり、単語を何回も書いたり、言ったりして覚えた。 わからないところは先生に聞く。

考査前の良かった勉強方法

暗記が多い教科は、要点をノートにまとめる。※時間をかけすぎずに、丁寧なノートはつくらないこと

まとめノートを1週間前前に作っておき、直前に見直す（特に暗記教科）

ノートやSSノートに公式や単語をまとめる。

教科書に線を引き、赤シートで隠す暗記方法や、先生が重要と言っていた部分のノートを見直す。

覚えたいところを寝る直前に音読する。暗記するときは歩く。

学校の定期考査では、その先生の傾向をつかむことと、ワークを何回もする。ノートを見直して、先生の言ったことを確認する。

何度も書いて覚える方法です。国語は漢字、社会と理科と英語は、単語を繰り返し書いて覚えめました。塾ではテスト範囲の問題を3～4回解いて、最終的に口頭テストをしました。同じ問題を何回も解くことで、頭に入りました。

一度と解いたワークをもう一度解いたり、予想問題を繰り返し解くことで知識が身に付いていくので、寝る前や起きたときに、前日やった勉強を見直したりするといいです。

時間を決めて、しっかりと休憩すること。

SSノートで、赤のボールペンを使って大事なところをまとめて、赤シートを使って覚える。

自分の苦手なところを自分なりにノートにまとめたことがよかった。

先に少し寝る。コーヒーを飲む。勉強

テスト前1週間は見直しが大事なので、どの教科も音読しながら問題をすすめたり、間違った点を字に書く作業を繰り返すと身に付いた。